

一般会計予算総括質疑通告書

令和 4 年 2 月 1 7 日

議 会 議 長 様

会 派 名 公 明 党

議員氏名 平 川 忠 良

質疑事項	質 疑 要 旨	指 定 答 弁 者
1. 令和4年度予算編成は	みんなの予算書で、令和4年度当初予算は、第6次杉戸町総合振興計画の将来像「みんなで育てるまちすぎと～自然とやさしさがあふれるまちへ～」を目指し、「杉戸町を元気にする予算」をテーマに掲げ、予算を編成したとあります。そこで、伺います。 (1) 第6次杉戸町総合振興計画では、16ページに持続可能な開発目標SDGsの実現に向けた取組で、今後のまちづくりにおいても、これらの目標の実現に近づけていく取組が必要となる。とあります。令和4年度の具体的な取組は。特に、町民と連携した取組は考えているのか。 (2) デジタル推進室が設置されます。杉戸町として情報発信力強化につながるものと期待しますが、予算措置や具体的な取組は。 (3) 町外の子ども医療費無料対象者の窓口払いが令和4年度から県主体で廃止となり、長年要望してきました子育て世帯の負担軽減策がようやく前進しました。町として医療費無料化を18歳まで拡大する検討は行わなかったのか。 (4) 東武動物公園駅東口通り線整備推進事業、旧杉戸小学校跡地活用事業の令和4年度の事業目標は。 (5) 「アグリパークゆめすぎと」のさらなる活用を見据えて、公共下水道接続のための準備を進めるとのことだが、さらなる活用策とは。	町長

2月17日 午前・午後 8時30分 受理

質疑事項	質 疑 要 旨	指 定 答 弁 者
2. 施政方針「選ばれるまち」とは	古谷町長は施政方針で、杉戸町を元気にしていくために、令和4年度に最優先して取り組むべきは、新型コロナウイルス感染症対策です。そして、もう一つの重要課題が人口減少対策です。町の将来を支える若者の人口増への取組は喫緊の課題です。若者、特に子育て世帯に「選ばれるまち」となるように、結婚、出産、子育ての全ての期間を安心して過ごせる環境づくりに努めていきたいと考えています。と語られました。 二つの課題への認識と、特に子育て世帯に「選ばれるまち」になるための具体的な取組は。	町長